

2017年(平成29年)8月25日(金曜日)

中学生も「だがしや楽校」 ボランティア生徒募集



中学生ボランティアの参加を呼び掛ける(左から)「TK部」の山本代表、中学生の的場さん、白石さん

子どもたちが仕事体験を通じて地域との結び付きを強める「だがしや楽校」(NPO教育支援協会北海道主催)が9～12月に、帯広、広尾、本別の管内3会場で開催される。中学生ボランティアを募集している。

会場周辺の店舗などと協力し、小学生が仕事を体験するイベント。専用通貨「ピース」を稼ぎ、駄菓子などと交換できる。十勝では2013年に始まり、昨年9月の帯広まちなか歩行者天国(オビヒロホコテン)会

場では約350人が参加してにぎわった。中学生ボランティアの募集は今回が初めて。開催5年目を迎え、当初小学生で参加した子どもたちが今度は楽しませる側になり、「中学生が社会とつながる場

に」と企画した。当日は高校生グループ「TK部」(山本愛優美代表)ら高校生・社会人ボランティアも参加する予定。小学生のときに参加した白石秀鷹さん(下音更中1年)と的場小乃実さん(帯

広第五中1年)は「コーヒ1店での会計や靴屋の裏方の仕事を通じて、お客さんの笑顔が印象的だった。今後は年下の子たちのサポートができれば」と意気込んでいる。

会場はオビヒロホコテンが9月10日午前10時～午後3時、広尾町の広尾サンタランド(広尾689)が10月28日午後1時～同5時、本別町が「学びの日」の12月2日午前10時～午後3時。定員は各20人程度(先着順)で、友人同士や部活単位の申し込みも可能。申し込みは参加者名(ふりがな)、連絡先、学校名・学年、希望会場を伝え、NPO教育支援協会北海道(0155・33・3033、Eメールinfo@kyoikushien-f.com)へ。(松田亜妃)